

政府業務継続に関する評価等有識者会議（第9回）議事概要

1. 会議の概要

日 時：平成28年2月25日（木）15：00～17：00

場 所：中央合同庁舎第8号館5F416会議室

出席者：大林座長、指田委員、中林委員、丸谷委員、野口委員、吉井委員、野田委員、池田委員、辻委員、加藤政策統括官、米津参事官 他

2. 議事概要

（1）中央省庁業務継続ガイドライン改定に関する意見

- 「本ガイドラインの利用にあたっては各府省等の規模・特性・政策等に応じて独自の工夫を加えた取組を行う必要がある。」を強調し、ガイドラインの位置付けを明確にすべきではないか。
- 被害状況と非常時優先業務の要求レベルは相関関係にあることを踏まえ、訓練シナリオの前提としての被害状況について大小付けしないほうがよいのではないか。中央省庁の業務を考えた場合、被害の項目を全て載せるのではなく、通信機能、職員の参集に項目を絞った方がよいのではないか。
- 図上訓練の有効性については、当該訓練自体が有効ではなくて、「意思決定を伴う図上訓練」が有効であるのではないか。訓練の事例について、レベルアップを踏まえた記載にすべきではないか。

（2）省庁業務継続計画の評価手法等に関する意見

- 前年度からの改善が分かることが重要ではないか。重要な細目についてはもう一段踏み込むべきであり、チェック事項の設定が難しいのであればヒアリングで確認するか、事前に摺合せをして確認しておくべきではないか。
- 幹部職員が訓練に関与するといった内容を追記すべきではないか。
- 訓練について、目標を定め、その目標が達成できたか等を追記すべきではないか。

以上